

(2)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-323453

(43)公開日 平成4年(1992)11月12日

(51)Int.Cl.⁵
E 04 D 13/03

識別記号 庁内整理番号
Z 7029-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号 特願平3-116586

(22)出願日 平成3年(1991)4月22日

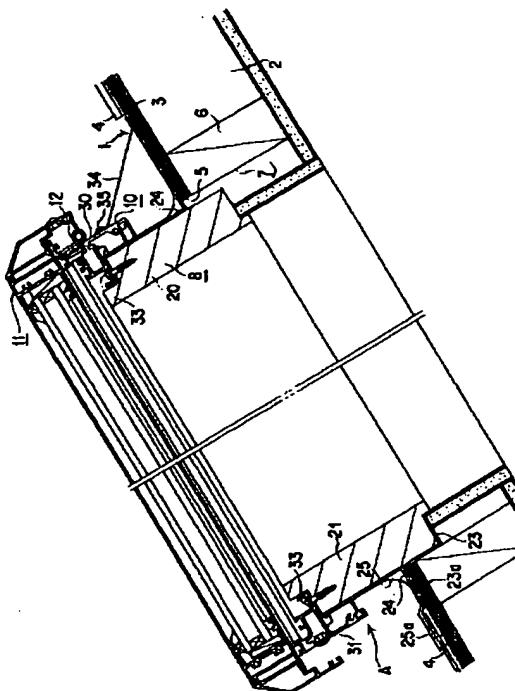
(71)出願人 390005267
ワイケイケイアーキテクチュラルプロダク
ツ株式会社
東京都千代田区神田和泉町1番地
(72)発明者 飛島 洋一郎
富山県黒部市荒俣98
(74)代理人 弁理士 米原 正章 (外2名)

(54)【発明の名称】 天窓の取付方法

(57)【要約】

【目的】 短期間に天窓を取付けできるし、水密性を向上できるようにする。

【構成】 木製枠8に先付け敷板24、下部スカート25、水切り板、雪割り34等を予め取付けたユニット体Aを、状態でその木製枠8を屋根開口部7内に挿入して取付け、その先付け敷板24の下部縁及び左右縁をめくり上げて下部敷板及び左右敷板を取付け、先付け敷板24の上部縁上に上部敷板を取付け、下部スカート25をめくり上げて先付け敷板24の上に屋根板4を取付け、この下部スカート25の上と先付け敷板24の上とに亘って屋根板4を取付け、上部敷板42の上に屋根板4を取付けて大工作業の後に屋根職作業をすることで天窓を取付けできるし、現場での組立てを省略できる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 木製枠8の外周面に先付け敷板24を4周連続して取付け、この先付け敷板24の下部に下部スカート25を取り付け、左右に水切り板24を取り付け、上部に雪割り34を取り付けると共に、前記木製枠8に固定枠体10を取り付けてユニット体Aとし、この木製枠8を野地板3の屋根開口部7に挿入して取付けて先付け敷板24を野地板3の上面に接触させ、先付け敷板24の下縁部、側縁部をめくり上げて下部敷板40、左右敷板41、42を野地板3に取付け、先付け敷板24の上縁部上に上部敷板42を取り付け、下部スカート25をめくり上げて下部敷板40上に屋根板4を取り付け、この下部スカート25の上と先付け敷板24の上と上部敷板42の上に亘って屋根板4を取り付けるようにした天窓の取付方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、建物の屋根に形成した屋根開口部に取付けられる天窓の取付方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 天窓としては例えば実公昭63-48729号公報に示すように、屋根に形成した開口部に木製枠を取り付け、この木製枠に固定枠体を取り付け、その固定枠体に障子を取り付けたものが知られている。このような天窓は屋根開口部と木製枠との間から雨水が室内に侵入しないようにするために次のようにして取付けている。屋根を構成するたる木：野地板に屋根開口部を形成し、この屋根開口部に木製枠を取り付け、木製枠の外側縫面と野地板とに亘ってルーフィングと呼ばれる敷板を取り付けて屋根開口部と木製枠の外側縫面との隙間を閉塞し、屋根開口部より屋根こう配方向下側（以下下部とする）に下部屋根板を取り付け、屋根開口部より屋根こう配方向上側（以上部とする）に雪割りを取り付けると共に、屋根開口部の左右に水切りを取り付け、木製枠に固定枠を取り付けると共に、固定枠に障子を取り付け、最後に屋根板を取り付けている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】かかる従来の天窓取付方法であると、屋根開口部、木製枠取付けの大工作業の後に敷板・一部屋根取付けの屋根職作業を行ない、その後に雪割り、水切り取付け、固定枠・障子取付けの大工作業を行ない、最後に再び仕上げ屋根職作業を行なうので、大工作業と屋根職作業が交互に繰り返しされるから、作業が煩雑であり取付け工期が長くなってしまうと共に、現場で組付けるので水密性の点で問題があった。

【0004】そこで、本発明は前述の課題を解決できるようにした天窓の取付方法を提供することを目的とする。

【0005】

2

【課題を解決するための手段】木製枠の外側面にあらかじめ先付け敷板を4周連続して取付けると共に、下部スカート、水切り板、雪割り、固定枠体を取付けてユニット体とし、この木製枠を屋根開口部に挿入して取付けることで先付け敷板を野地板上面に接触させ、その後に敷板と屋根板を取付けるようにした方法。

【0006】

【作用】大工作業の後に屋根職作業を実施することで天窓を取付けできる。

10 【0007】

【実施例】図1、図2に示すように、屋根1はたる木2、野地板3、屋根板4等より成り、野地板3の開口部5と木枠6とにより屋根開口部7を構成してある。前記屋根開口部7には木製枠8の下部が押されて取付プラケット9で連結され、この木製枠8に固定枠体10が取付けてあり、その固定枠体10に障子11がヒンジ12で開閉自在に取付けてある。前記木製枠8は上部枠材20、下部枠材21、左右枠材22、22で方形枠状となり、下部枠材21及び左右枠材22、22の下端面と外

20 側縫面下部とに亘ってクランク形状の支持用金属板23がそれぞれ取付けられ、この支持用金属板23の上横片23aが野地板3の開口縫上部に接し、各枠材の外側縫面上部と野地板3の上面とに亘って断面L字状で4周連続した先付け敷板24がそれぞれ取付けてあり、下部枠材21に取付けた先付け敷板24に下部スカート25が取付けられ、この下部スカート25は鉛製となって下端縫25aが屋根板4の上に重ね合せてあり、左右枠材22、22に取付けた先付け敷板24に左右の水切り板26がそれぞれ取付けてある。さらに前記固定枠体10は上部枠材20と下部枠材21と左右枠材22、22とで方形枠状となり、各枠が木製枠8の各枠材上端面にビス33で連結され、上部枠材20の外側縫面上に雪割り34がビス35で取付けてある。

30 【0008】次に天窓の取付け順序を説明する。図3に示すように、野地板3に開口部5を形成すると共に、木枠6を取付けて屋根開口部7とする。あらかじめ工場等で木製枠8に先付け敷板24、下部スカート25、水切り板26、雪割り34を取り付けると共に、木製枠8に固定枠体10を取り付けてユニット体Aとし、このユニット体Aを現場まで運搬してその木製枠8を図4に示すように屋根開口部7に挿入して金属板23の上横片23aを野地板3の開口縫上部に載置し、左右の位置決めをして取付けプラケット9を木枠6に固着してユニット体Aを屋根開口部7に取付する。この後に障子11を取付ける。以上は大工作業となる。図5に示すように、先付け敷板24の下縁部と下部スカート25をめくり上げてその下に下部敷板40を貼り、図6に示すように先付け敷板24の左右縫部をめくり上げてその下に左右敷板41を貼り、図7に示すように先付け敷板24の上縁部の上50 から上部敷板42を貼る。図8に示すように、下部スカ

3

→ト25をめくり上げて屋根板4を先付け敷板24の下端縁の上に重ね合せて取付け、図9に示すように、下部スカート25の上面と先付け敷板24の左右縁の上及び上部敷板42の上に屋根板4をそれぞれ取付ける。以上は屋根職作業である。

【0009】

【発明の効果】屋根開口部とあらかじめ組み立てたユニット体の木製枠取付けの大工作業を終わった後に敷板、屋根板の取付けの屋根職作業を行なうことができ、短時間に天窓を取付けできると共に、ユニット体はあらかじめ組立て現場では木製枠を取付ければ良いから水密性を向上できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】天窓取付け状態の屋根こう配方向の断面図である。

10

【図2】天窓取付け状態の屋根こう配方向と直角方向の断面図である。

【図3】屋根開口部の斜視図である。

【図4】木製枠取付け状態の斜視図である。

【図5】敷板取付け状態の斜視図である。

【図6】敷板取付け状態の斜視図である。

【図7】敷板取付け状態の斜視図である。

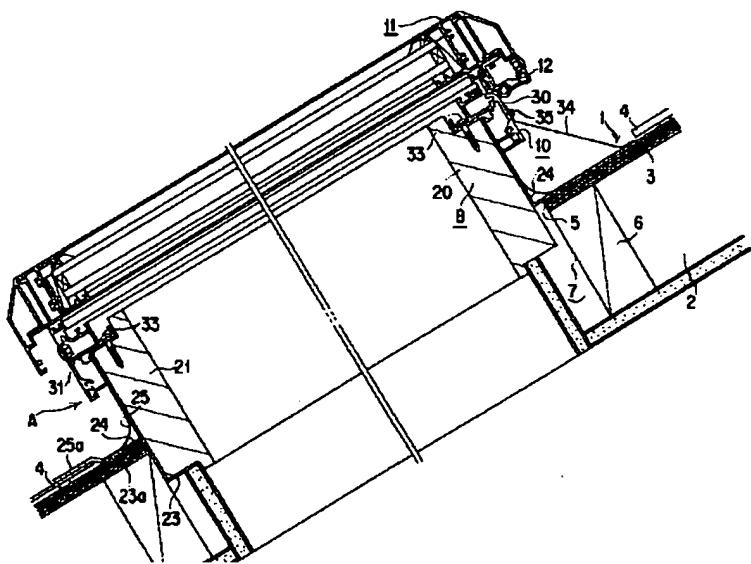
【図8】屋根板取付け状態の斜視図である。

【図9】屋根板取付け状態の斜視図である。

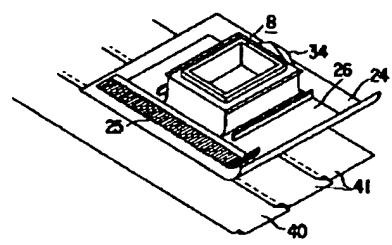
【符号の説明】

1 屋根、2 たる木、3 野地板、4 屋根板、7 屋根開口部、8 木製枠、10 固定枠体、11 障子、24 先付け敷板、25 下部スカート、26 水切り板、34 雪割り、40 下部敷板、41 左右敷板、42 上部敷板、A ユニット体。

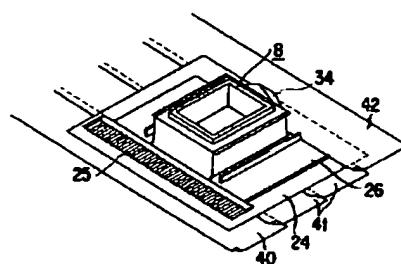
【図1】



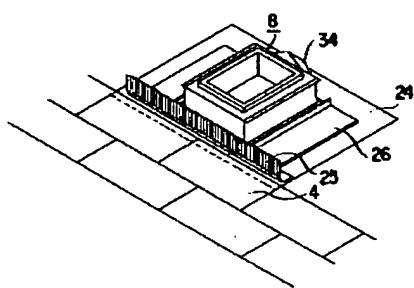
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

